

## 工事成績採点の考查項目別運用表

[記入方法] OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合はーを記入する。

令和 6 年 4 月 1 日改訂  
土木用（第3評定者）

別紙-3①

考查項目	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ I.出来形	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の5項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の4項目が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われおり、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の4(4 <sup>注</sup> )項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われおり、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の3(3 <sup>注</sup> )項目が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われおり、測定値が規格値を満足し、a～b' (b～b' <sup>注</sup> )に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準や規格値を満足せず、不適合に該当する。

※ばらつきの判断は別紙-4参照  
別紙-3の作成は別紙-5により行う。

主たる工種 (1) (2) (3)

ばらつき判断の可否    • ばらつき判断できる    • ばらつき判断できない。（いずれかを○で囲む）

**注** **測定結果の打点数が少なく、ばらつき判断できない場合は「評価対象項目」のみで評価するものとし、( )内の評価項目の数で評価する。**

ばらつき判定 測定項目名( ) 測定値数( 点)・・①  
 規格値の50%以内の数( 点)・・② ②/①= 割(8割以上が該当)  
 " 80%以内の数( 点)・・③ ③/①= 割(8割以上が該当)

ばらつき判定結果    • 50%以内    • 80%以内    • 80%超 (いずれかを○で囲む)

**【評価対象項目】**

1. 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図表を工夫し、作成されていることが確認できる。  
 2. 不可視部分の出来形が写真・資料等で的確に判断できる。  
 3. 自社の管理基準を設定し、適切に管理している。  
 4. 写真管理基準の管理項目を満足している。  
 5. 出来形管理図、出来形結果表が漏れなく作成されている。  
 6. □5. を満足し、竣工図及び出来形管理図表が検測値に差違なく、適正に作成されていることが確認できる。  
 7. 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。  
 8. その他 (理由)

**①** 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。  
**②** 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。  
**③** 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確認する管理体系である。  
**④** その他は、1～7以外の項目で特に評価する場合などについて、独自に設定するものとする。

**●判断基準**

評価 項目 数	ばらつき判断できる			ばらつき 判断でき ない
	50% 以内	80% 以内	80% 超	
5項目以上	a	b		b
4項目	a'			c
3項目	b'	b		b'
2項目以下	c	c		c

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																													
3.出来形及び出来ばえ Ⅱ.品質	塗装工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙－4参照。 別紙－3の作成は別紙－5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超える不適合に該当する。																													
<b>【評価対象項目】</b>																																				
<input type="checkbox"/> 1. 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 塗り残し、ながれ、しわ等がなく塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. その他（理由）																																				
<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで 判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評 価 値</td> <td>90 %以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75 %以上 90 %未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60 %以上 75 %未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60 %未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注　試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>									ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評 価 値	90 %以上	a	a'	b	a'	75 %以上 90 %未満	a'	b	b'	b	60 %以上 75 %未満	b	b'	c	b'	60 %未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																															
		50%以下	80%以下	80%を超える																																
評 価 値	90 %以上	a	a'	b	a'																															
	75 %以上 90 %未満	a'	b	b'	b																															
	60 %以上 75 %未満	b	b'	c	b'																															
	60 %未満	b'	c	c	c																															

